

# 経友会 ニュース

第13号

ご質問・お問合せ・メールのご登録は  
**大阪市立大学 経友会**  
(大阪市立大学 経済学部同窓会)  
keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp

2007(平成19)年9月25日発行

## 2007(平成19)年度「経友会講座」今年も10月開講

早や3年目を迎え、今年から「国際経済論特殊講義」に衣替え!  
市大 土井理事や初の文学部卒業生など多彩な講師陣が  
海外でのわが国企業の奮闘ぶりを語る。

### 2007年度 国際経済論特殊講義一覧

実施期間:19年10月4日(木)~20年1月17日(木)

講義時間:午後4時20分~午後5時50分 会 場:田中記念会館 大講堂

#### 【講義内容】

今年で3回目を迎える本学部の公開企画講座。本年度は「企業の海外事業展開」、今話題の「BRICs」をキーワードとして、各産業分野の現状分析、将来展望を中心とし講義を行う。講師は、各企業で活躍中の国際経済・国際ビジネスの第一線に携わる本学卒業生を母校に招き、現場の生の声を受講生に提供する。

| 日 程          | 内 容  | 担 当 者   |
|--------------|--|---|
| 10/4<br>(木)  | 世界鉄鋼業の再編 -中国鉄鋼業拡大-   | 古川 弘成 (S44年経)<br>阪和興業株 専務取締役                    |
| 10/11<br>(木) | 日本の軽自動車とアジアの軽ベーススマートカー<br>—  | 大石弘之 (S50文)<br>ダイハツ工業株 理事                       |
| 10/18<br>(木) | 日本のエレクトロニクス企業におけるグローバル化の進展   | 土井 純三 (S44経)<br>大阪市立大学 理事 元松下電器株                |
| 10/25<br>(木) | 東芝の海外事業への取組み   | 小林 俊介 (S44年法)<br>株東芝 執行役常務 関西支社長                |
| 11/8<br>(木)  | やってみなはれ 一サントリー挑戦の歴史—   | 岡村 美孝 (S48経)<br>サントリー(株) 取締役 広域営業本部長            |
| 11/15<br>(木) | 国際貿易と不死鳥商社の役割  | 高田 誠一 (S43年経)<br>京義倉庫株 代表取締役社長 元三井物産            |
| 11/22<br>(木) | 包装産業 -日本vs世界-  | 石高 康治 (S43経)<br>東罐マテリアル・テクノロジー(株) 代表取締役社長 元東洋製罐 |
| 11/29<br>(木) | 国際物流とパラダイム<br>—日本が貢献出来るもの—   | 篠原 正人 (S48経)<br>東海大学 海洋学部教授(国際物流担当) 元商船三井       |
| 12/6<br>(木)  | BRICsの中のBRAS(ZIL)の実力とその魅力<br>—「永遠に未来の大団」から「現実の大団」に—<br>その激動振りを目の当たりにして | 室 元明 (S41経)<br>株ボンドリーム 代表取締役社長 元クラボウ            |
| 12/13<br>(木) | 海外での企業経営 -銀行員からの眼-<br>石油と蘭の国での人との出会い                                   | 田仲 勇一郎 (S46経)<br>尾家産業株 常務取締役 管理本部長 元第一勧業銀行      |
| 12/20<br>(木) | ロシアの鉄鋼業  | 荻野 和己 (S28阪大工、H10市大経院)<br>大阪大学名誉教授(工学部)         |
| 1/10<br>(木)  | 日本の繊維産業の変遷   | 佐藤 一良 (S42経)<br>ダイヤモンド電機株 総務部次長 元蝶理             |
| 1/17<br>(木)  | 日本のカメラ産業と海外市場開拓  | 竹内 淳一郎 (S38神大経営、H8市大経院)<br>日本大学カメラ産業研究会 元ミノルタ   |



#### 国際経済論特講の開設に当たって

経済学部 教授  
佐々木信彰

平成17年度から始まった『経友会講座』は、2年間『産業経済論特講』として経済学部に提供されました。経済学部の学生のみならず、商学部、法学部、文学部の学生さらには市民も加わって、多数の受講生が熱心に受講しました。「公開講座」として市民にも提供し、また大阪市立大学の全学部に提供する開かれたこの講義は産業経済の第一線で活躍する卒業生の永年に亘る貴重な「体験」を後輩に伝えるユニークな講義でありました。他学部・他大学には寡聞にして聞くことの無い『実験講座』です。

今回、『国際経済論特講』として衣替えすることになったのは日本経済の国際化に対応するものです。バブル経済とその崩壊、グローバリゼーションの進展と企業の海外進出、国際化の荒波の中で日本企業はいかに厳しい競争を戦い抜いてきたのか。国際化の最前線で活躍する先輩からの話は「失敗と成功」の経験に基づく知恵を後輩たちに「架橋・伝授」するものとなることを希望しています。

理論志向が強い経済学部の講義に日本企業が主体となった『国際経済論特講』の開設が加わることは経済学部講義のウイングを広げるのみならず、大阪市立大学経済学部のユニーク性を特徴づけるものとなることを確信しています。経友会の先輩諸氏また超多忙のなかに講義をご担当いただく講師の皆さんに経済学部を代表してここに厚く御礼申し上げるしだいです。

## 2005(平成17)年度・2006(平成18)年度 経友会講座「産業経済論特殊講義」一覧

これまでの経友会講座「産業経済論特殊講義」の講義内容と講師をご担当いただいた24名の先輩方、とりあえず心からお礼申し上げますとともに、母校のために講義準備を含め本当に貴重な時間と労力を費やしていただきましたことに、衷心より感謝の意をあらためて表させていただきます。誠に有難うございました。

今後とも経友会活動はじめ母校へのご支援・ご協力を引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



2005年度 講義風景 (法学部棟)



2006年度 講義風景 (田中記念館)



2006年度 第9回講義風景

### 第1回経友会講座「産業経済論特殊講義Ⅱ」

期間:2005(平成17)年10月6日～2006(平成18)年1月19日

場所:法学部棟 730教室 受講登録者数 669名

※敬称略、勤務先・所属・役職は講師当時。

| 回数 | 日時    | 講義タイトル              | 講師名    | 卒年等   | 職歴                         |
|----|-------|---------------------|--------|-------|----------------------------|
| 1  | 10/6  | 戦後日本の産業と経営の変遷       | 久保 勇   | 経S32  | KBC総研㈱代表取締役 元南海電鉄          |
| 2  | 10/13 | 日本製カメラの競争優位の構築      | 竹内 淳一郎 | 社院H9  | 日本大学経済学部カメラ産業研究会 元ミノルタ     |
| 3  | 10/20 | 情報産業の発展過程と現状及び将来の課題 | 辻本 敏彦  | 経S43  | 株ビーテーキュー取締役社長 元東芝情報機器      |
| 4  | 10/27 | 環境問題の現状と企業の取り組み     | 渡部 徳博  | 経S51  | 大阪ガス㈱環境部地球環境チームマネージャー      |
| 5  | 11/1  | 軽自動車の果たした役割と今後の展望   | 面田 真一  | 経S43  | ダイハツ工業㈱理事                  |
| 6  | 11/17 | 鉄鋼業の現況と今後の課題        | 橋本 純   | 経S50  | 住友金属プランテック㈱営業企画部長          |
| 7  | 11/24 | 日本の港湾制度とその課題        | 有田 正文  | 経S50  | 大阪市役所 経営企画室担当部長            |
| 8  | 12/1  | 金融改革と銀行の変遷          | 澤田 哲生  | 経S51  | ㈱トーア常務取締役 元りそな銀行           |
| 9  | 12/8  | 関西私鉄の模索-21世紀への展望-   | 齋藤 敏宣  | 経S51  | 元京阪電鉄                      |
| 10 | 12/15 | エレクトロニクス多国籍企業の産業再編  | 高田 雄司  | 社院H9  | 福山大学経済学部 学科長・教授 元松下電器      |
| 11 | 12/22 | 小売業の業態進化論           | 島村 幸光  | 社院H10 | YSソリューション代表 元エーエム・ピー・エム・近鉄 |
| 12 | 1/12  | 日本の繊維産業の変遷について      | 高木 健次  | 経S30  | 高木経営研究所 代表 元東洋紡            |
| 13 | 1/19  | 復習編                 | 竹内 淳一郎 | 社院H9  | 日本大学経済学部カメラ産業研究会 元ミノルタ     |

### 第2回経友会講座「産業経済論特殊講義I」

期間:2006(平成18)年10月5日～2007(平成19)年1月25日

場所:法学部棟 730教室～田中記念館大講堂 受講登録者数 728名

※敬称略、勤務先・所属・役職は講師当時。

| 回数 | 日時    | 講義タイトル                      | 講師名   | 卒年等   | 職歴                                 |
|----|-------|-----------------------------|-------|-------|------------------------------------|
| 1  | 10/5  | 新しい金融サービスとプロ野球球団経営          | 梶原 健司 | 経S43  | オリックス㈱取締役 執行役副社長                   |
| 2  | 10/12 | 日本の自動車産業の現況と課題              | 藤井 一彦 | 経S50  | トヨタ自動車㈱フリート営業・特装部長                 |
| 3  | 10/19 | 電気事業経営の現状と今後の課題             | 浅田 利晴 | 経S59  | 関西電力㈱経営改革・IT本部ビジネス構造改革推進Gチーフマネージャー |
| 4  | 10/26 | IT産業の変遷と現状                  | 藤井 清治 | 経S58  | 日本IBM㈱流通事業第4事業部 西日本営業部 部長          |
| 5  | 11/9  | ブレハブ産業の変遷と今後の課題             | 福田 利夫 | 経S52  | 積水ハウス㈱TKC西日本事業部 部長                 |
| 6  | 11/16 | 日本鉄鋼業の現状と課題                 | 安藤 清  | 経S43  | 神鋼ボルト㈱代表取締役                        |
| 7  | 11/30 | 最近の日中ビジネス動向                 | 松崎 征弘 | 社院H18 | 財団法人 日中経済協会 関西本部事務局長               |
| 8  | 12/7  | 不動産におけるビジネスモデルの変遷           | 池内 敬  | 商H1   | 東急不動産㈱資産活用事業本部ファンド推進第2部 課長         |
| 9  | 12/14 | 日本の生命保険事業の現状と今後の展望          | 正殿 博章 | 法S50  | 日本生命保険相互会社 取締役近畿営業本部長              |
| 10 | 12/21 | 百貨店業態の分析と今後の課題              | 島村 幸光 | 社院H9  | YSソリューション代表 元エーエム・ピー・エム・近鉄         |
| 11 | 1/11  | 大阪における労働事情                  | 山本 晃子 | 経S51  | 堺労働基準監督署 次長                        |
| 12 | 1/18  | 陽はまた西から昇るか～大阪企業への期待と関西財界の役割 | 東 昭司  | 経S42  | (財)国際花と緑の博覧会記念協会 審議役 元大阪商工会議所      |
| 13 | 1/25  | 大阪の活力・変貌と再生への道-都市型集客観光からの考察 | 山幡 一雄 | 経S38  | 前(財)大阪城ホール 理事長                     |

2007年3月(平成18年度)経済学部就職戦線

## 景気回復の追い風をうけ好調に推移、業種の多様化進む!

### 昨年度に比べ建設、小売、金融、電気業界が伸びる

平成18年度の就職戦線は、早いケースでは昨年夏ごろまでには次々と内定が出だすなど全般的にバブル期に匹敵するほど好調に推移した。こうした追い風の中、我が経済学部卒業生たちもおおむね順調な就職状況となった。経済学部事務局がまとめた2006(平成18)年度卒業生の就職結果一覧は以下の通り。

昨年度と比較すると、業種の分散化傾向が顕著になってきており、医療法人、出版・印刷、小売、金融、建設、繊維、電気などの業種への就職者が増えた。一方、薬品・化学、自動車、マスコミ、その他金融などの業種で減少が目立った。



### 2006(平成18)年度 経済学部卒業生 就職先一覧

| 分類    | 就職先企業名等  | 人<br>数 | 分類    | 就職先企業名等        | 人<br>数 | 分類      | 就職先企業名等          | 人<br>数 |
|-------|----------|--------|-------|----------------|--------|---------|------------------|--------|
| 建設    | 旭化成ホームズ  | 1      | 金融    | 京都銀行           | 2      | サービス    | 富士通アドバンスソリューションズ | 1      |
| "     | 大林組      | 1      | "     | 泉州銀行           | 5      | "       | リクルート            | 1      |
| "     | オントックス   | 1      | "     | 南都銀行           | 1      | "       | リクルートHRマーケティング関西 | 1      |
| 食品    | カゴメ      | 1      | "     | 十八銀行           | 1      | 情報通信    | 青森朝日放送           | 1      |
| "     | タイヘイ     | 1      | "     | みずほ銀行          | 3      | 医療      | 特別・特定医療法人愛仁会     | 1      |
| "     | 不二製油     | 2      | "     | みずほ信託銀行        | 1      | 出版・印刷   | 真生印刷             | 1      |
| 繊維    | ユニチカ     | 1      | "     | みずほフィナンシャルグループ | 1      | "       | 日本写真印刷           | 1      |
| "     | ヤギ       | 1      | "     | JA/パンク京都信連     | 1      | 企業小計    |                  | 7      |
| 化学    | 三甲       | 1      | "     | 三井住友銀行         | 3      |         |                  |        |
| 電気・ガス | 東京電力     | 1      | "     | 三菱UFJ信託銀行      | 1      |         |                  |        |
| 通信・輸送 | NTT 西日本  | 2      | "     | 三菱東京UFJ銀行      | 4      |         |                  |        |
| "     | 阪神電気鉄道   | 1      | "     | りそな銀行          | 1      |         |                  |        |
| "     | 近畿日本鉄道   | 1      | "     | 大阪府信用農業協同組合    | 1      |         |                  |        |
| "     | 南海電気鉄道   | 2      | "     | JA/パンク京都信連     | 1      | 企業総合計   |                  | 111    |
| 電気機械  | キヤノン     | 1      | "     | 播州信用金庫         | 1      |         |                  |        |
| "     | シャープ     | 1      | "     | 中小企業金融公庫       | 1      | 国家公務員   | 東京国税局            | 1      |
| "     | ダイキン工業   | 1      | "     | 沖縄振興開発金融公庫     | 1      | "       | 大阪国税局            | 2      |
| "     | ダイヘン     | 1      |       |                |        | "       | 仙台国税局            | 1      |
| "     | 東芝       | 1      | 証券・先物 | 大和証券           | 1      | "       | 関東甲信越国税局         | 1      |
| "     | 日本電気     | 1      | "     | 野村證券           | 4      | "       | 近畿財務局            | 2      |
| "     | 日東电工     | 1      | "     | 三菱UFJ証券        | 2      | "       | 大阪税關             | 1      |
| "     | ヒロセ電機    | 1      | 保険    | 住友生命           | 4      | "       | 大阪地方裁判所          | 1      |
| "     | 三菱電機     | 2      | "     | 太陽生命保険         | 1      |         |                  |        |
| "     | 村田機械     | 1      | "     | 三井生命保険         | 1      | 地方公務員   | 内閣府              | 1      |
| 精密機械  | キーエンス    | 1      | "     | 日本生命保険         | 2      |         | 和歌山県             | 1      |
| 輸送用機械 | 石川島播磨重工  | 1      | 不動産   | 銀泉             | 1      | "       | 徳島県              | 1      |
| "     | トヨタ自動車   | 1      | サービス  | LEC東京リーガルマインド  | 1      | "       | 京都府警             | 1      |
| その他製造 | 住友金属工業   | 1      | "     |                |        | "       | 堺市               | 3      |
| "     | 石井石材     | 1      | "     | NEOネクサソリューションズ | 1      | "       | 守口市              | 1      |
| "     | イムラ封筒    | 1      |       |                |        | "       | 倉敷市              | 1      |
| "     | 大王製紙     | 1      | "     | オンテックス・プラス     | 1      |         |                  |        |
| "     | 三ツ星ベルト   | 1      | "     | TKC            | 1      |         |                  |        |
| 卸売    | 稻畑産業     | 1      | "     | アップ            | 1      |         |                  |        |
| "     | 岡谷鋼機     | 1      | "     | エム・アイ・ティー      | 1      |         |                  |        |
| "     | ヒップブジモト  | 1      | "     | サイボウズ          | 1      | 公務員総合計  |                  | 18     |
| 小売    | 高島屋      | 1      | "     | 関電ソリューションズ     | 1      |         |                  |        |
| "     | キャンドゥ    | 1      | "     | 日本郵政公社         | 1      | その他     | 自営業              | 1      |
| "     | マイカル     | 1      | "     | 日本IBM          | 1      |         |                  |        |
| "     | コーナン商事   | 1      | "     | リビングプロシート      | 1      | 189(53) | 卒業者数(内女子)        |        |
| "     | シーマン     | 1      | "     | 住生コンピューターサービス  | 2      | 130(42) | 就職者数合計           | 68.8%  |
| 金融    | 関西アーバン銀行 | 2      | "     | 富士通関西システムズ     | 1      | 111(35) | 企業就職者数           | 58.7%  |
| 企業小計  | 46       |        | 企業小計  | 58             | 18(7)  | 18(7)   | 公務員就職者数          | 9.5%   |
|       |          |        |       |                | 1      | その他就職者数 | 0.5%             |        |



## 特集 経済学部の実像シリーズ ①

# 経済学部の超人気ゼミ! 玉井金五先生と ゼミ生達の絆を探る

現在の経済学部は前期・後期別単位講義型になっている。編集者が在学時(今から約35年前)には、もちろん単位は通期4単位制のみであったし、教養課程と経済学部専門課程とは履修可能科目にも大きな制約があったが、現在は、1回生から経済学部専門講義の一部を受講することも可能だそうである。さらに編集者の時は3回生からいわゆる少人数ゼミ(専門演習)を受講することになっていたため、どのゼミを選ぶかについては結構頭を悩ました記憶がある…。しかし今では、経済学部の専門演習のいわばトレーニング的な意味から、基礎演習として1回生のときにうけることができるシステムになっている。

さて今回密着取材させていただいた玉井先生のゼミは、毎年経済学部3回生の志望者数が20~30名前後(1999年には最高の37名を記録)になる難関ゼミ

として名をはせている。

そればかりか先生のゼミは、2005年度、2006年度の2年連続経済学部卒業生総代(首席)を輩出、経済学部初となる快挙を成し遂げてもいる。過去にも首席卒業生(2部含む)5名や最優秀・優秀卒業論文6名、諸活動功労3名というまさに

輝かしい成果をあげているダントツのゼミである。

ゼミ活動でも、3商大研究討論会に学部最多の17年連続出場や韓国・全南大との日韓学生

討論会にも学部代表として3回出場している。また年2回は最低でも施設・工場などの見学会もあり、学内の広報活動や行事にも積極的に登場している。ゼミ生(卒業生含む)には、若手俳人として将来を嘱望されている女流俳人、TVア



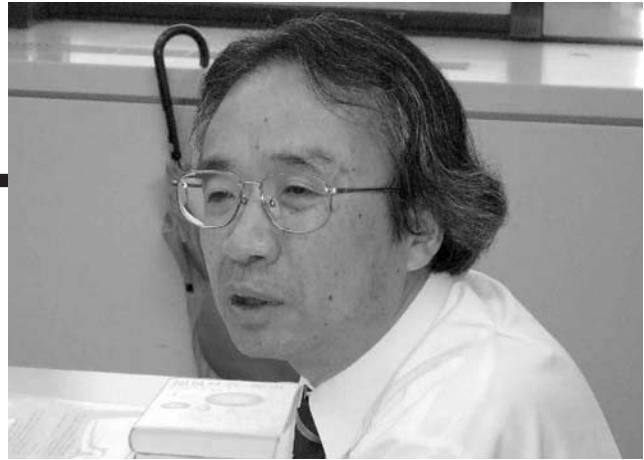
ナウンサー や エレクトーン日本代表としてアジア大会に出場した現役4回生などまことに多士済々の顔ぶれが揃っている。

そんな玉井先生の素顔とゼミ生たちを惹きつけてやまない魅力の秘訣、そして学生たちからみた玉井先生の実像を探るべく、6月21日(木)の3回生ゼミと22日(金)の4回生ゼミ演習に編集者も参加し、数十年ぶりに学生時代にタイムスリップしてきた。



# 社会政策論

## 玉井先生の魅力とその秘訣



毎年大勢の志望者がくる玉井ゼミでは、玉井先生が必ず全員と面接し学生の話をこと細かく聞いた上で定員の10名を決めているそうだ。先生に選抜の基準を聞いてみたところ、「ゼミ志望書に書かれている志望理由、何を勉強したいか、2回生までの学業成績と何を学んだかをまずじっくり学生から話を聞くこと」と穏やかに切りだされた。学生との話だけでこれほどまでの優秀な学生が集まるんですか?との間に、「実は、1回生の基礎ゼミの受講生と2回生まで私の講義を受けた学生の中で、少しは気になっている学生もいるんですよ」と笑顔で答えられた。しかしその後に先生が言わされたことが印象的だった。「でも成績だけが良い学生ばかりを集めても決していいゼミにはならないものなんです。だから、クラブや趣味など多彩な幅の広い学生を集めるようにしていますね。10人が個性を保つつみんなの和を大事にすることが大切だと思いますから…。」

先生のいわれるように玉井ゼミの学生たちは、確かにいろいろなタイプの学生が集まっているのがわかる。首席もいれば体育会系クラブで頑張っている、バイトで頑張っている、趣味の音楽で頑張っているなどなど個性派揃いといえるのである。それでいてゼミ生10人は4回生になる頃には、ちゃんと自分の将来の夢を立派に語ることができる若者たちなのだ。これまでから玉井ゼミでは先輩を招くことも含めた独自の就職セミナーを開催し、社会人の先輩たちとの接点を大切にし、さらに先生自ら学生と個別の就職相談を親身になって指導してこられたそうで、就職率は毎年ほぼ100%という実績を残しているそうだ。

玉井先生の魅力について学生たちに聞いてみると、ある3回生は、「先生は私たちがびっくりするくらい、いっぱいいろいろなアンテナを張りめぐらされていると思う。正直今流行っていることならなんでもご存知なのではと感心させられてしまうことがあります。目線が私たち学生と変わらないくらい…。」またある4回生は、「何事につけとにかくまず私たちの言うことを、じっくり聞いてくれるんです。どんなことでも私たちが納得する答えやヒントを先生は客観

的にかつ的確におっしゃってくださいます。とにかく、ものすごく広くて深い知識と経験、人間性のかたまりのような方だと思います。……どういうのか、いつも一步引いて私たちを見ていてくれているんだと…。」

先生の魅力とその秘訣は、編集者も驚くほど学生たちへの目配りが行き届いていらっしゃること。それとあいまって、本当に授業中も学生の持ち味と疑問点や課題をうまく引き出す「聞き上手さ」と、また学生たちをフォローアップする見事な指導法により、学生たちに学問の楽しさを伝えられていることではないか、久しぶりの学生タイムスリップで感じた次第である。



# 第20回 経友会常任幹事会開催



5月26日（土）午後、アベノメディックスで第20回会議が開催されました。この会議では、平成18年度事業報告・同会計決算が承認されたあと、第2回経友会講座の実施概況や、今後の経友会事業についてのあり方に関する役員・常任幹事に対するアンケート結果についての報告がされました。そのあと平成19年度事業計画（案）・同会計予算（案）について審議され、一部修正して承認されました。

## [会議案件]

### 1. 平成18年度事業報告並びに会計報告

#### (事業報告の概要)

##### ○第2回経友会講座

平成18年度後期（10月から翌1月まで）13講座を開設。受講者数は学生692人、社会人聴講生36人の合計728人。（前年度の受講者数合計669人）使用教室が収容人数を大幅に超えたため、会場を田中記念館大ホールに移して実施する盛況となりました。

##### ○第10回経友会総会

平成18年11月3日、学術情報総合センター10階大会議室で開催。この日、シンクロワールドカップ2006 銀メダリストの経済学部4年生 小林 寛美さん（今春卒業）を総会のゲストに招いて、競技をビデオで紹介。出席者は北京五輪出場に向けて猛練習を続ける彼女を大きな拍手で激励しました。

第2部では、大阪市立大学 都市研究プラザ特任教授 木村收氏を講師に招き、「三位一体改革」と題した、今日の都市の行財政問題についての講演を聽きました。

##### ○経友会ニュース発行

平成18年8月第11号、19年3月第12号発行。第12号から在学生にも配布。

##### ○助成事業

###### ●教員論文出版助成金交付 佐藤隆広准教授

「インド経済のマクロ分析」

###### ●平成19年3月 卒業式に会長が出席。優秀学生表彰副賞を授与。（最優秀学業賞、優秀学業賞、優秀卒論賞、サークル等活動功労賞、特別努力賞 合計14名）

##### ○アンケート調査実施

平成19年3月役員・常任幹事に対して今後の経友会事業のあり方等についてのアンケート調査を記入・郵送方式で実施。

##### （会計報告）

平成18年度一般会計、経友会講座特別会計あわせて収入支出合計は11,081,714円で、前年の繰越金を除く単年度の収入額は2,230,129円、支出額は2,657,987円となり、その差の単年度収支△427,858円は前期繰越金から取り崩しました。その結果次年度への繰越金は7,982,422円となりました。（資料参照）

### 2. 会計監査報告 （省略）

### 3. 第2回経友会講座「産業経済論特講」実施の概要報告 （記事参照）

### 4. アンケート調査集計報告 （省略）

### 5. 平成19年度事業計画案並びに事業会計予算案

#### (事業計画案)

##### 1. 経済学部創設60周年に向けての組織強化

- 退任を希望する常任幹事に代えて推薦のあった候補者に常任幹事を委嘱する。
- 経済学部教員の協力を得てゼミ単位で卒業生の名簿を集め、欠員になっている年次の常任幹事を補充するとともに、経友会への新規会員の勧誘を図る。

##### 2. 第3回経友会講座の開設

- 平成19年10月～平成20年1月（後期13講座）

##### 3. 経友会ニュースの発行

- 年2回発行（9月、3月に発行）

##### 4. 優秀学生表彰（経友会賞の創設）

- 従来の優秀学生表彰助成（卒業生対象）にかえて毎年5名以内を表彰する。

##### 5. 木本基金への助成金交付

- 経済学部教員の優秀論文の出版に対し助成金を交付する。

##### 6. 経済学部教員との意思疎通の強化

- 経友会常任幹事と経済学部教員との懇談会を開催し、相互の意思疎通の親密化を図る。

##### 7. 現役学生との紐帯の強化

- 経友会ニュースを経済学部学生に配布

- 現役学生とOBとの座談会、経友会幹部との懇談会を開催し、同窓の紐帯を強めるとともに、経友会活動に対する関心を持つもらう。

##### 8. 経済学部創設60周年（平成21年）記念事業の検討

- 記念事業実施の是非について（記念事業検討委員会の設置について）

☆ 上記案件のうち、4.優秀学生表彰（経友会賞の創設）については、従来の副賞金交付に代えて、受賞者を1名、対象を学生、教員、OBとする権威のある経友会賞を創設することとし、これに伴い予算案の一部も修正して、次回常任幹事会に提出することとしました。

また、5.木本基金への助成金交付 については、次年度以降、木本基金で賄える見通しがついたことにより、今年度限りで打ち切ることとしました。

#### (平成19年度事業予算案)

収入は前期繰越金7,982,422円、会費収入等1,890,300円（資料参照）の合計9,872,722円に対し、支出は2,887,000円と見込まれ、次年度への繰越金は6,982,722円となる見込みとなりました。（資料参照）

## 平成18年度 経友会一般会計決算書

(平成18年6月1日～平成19年5月31日)

| 収入の部   |            |            |          |            |
|--------|------------|------------|----------|------------|
| 科 目    | H18年度予算額   | 決 算 額      | 差 頓      | 前年度決算額     |
| 前期繰越金  | 8,410,280  | 8,410,280  | 0        | 9,264,491  |
| 会費収入   | 1,800,000  | 2,039,720  | -239,720 | 1,797,170  |
| 雑収入    | 0          | 185,416    | -185,416 | 20,000     |
| 受取利息等  | 100        | 4,993      | -4,893   | 53         |
| 収入の部合計 | 10,210,380 | 10,640,409 | -430,029 | 11,081,714 |

| 支出の部    |            |            |          |            |
|---------|------------|------------|----------|------------|
| 科 目     | H18年度予算額   | 決 算 額      | 差 頓      | 前年度決算額     |
| 通信費     | 619,000    | 595,749    | 23,251   | 601,517    |
| 印刷費     | 170,000    | 237,890    | -67,890  | 168,525    |
| 消耗品費    | 63,000     | 57,144     | 5,856    | 50,041     |
| 人件費     | 600,000    | 506,000    | 94,000   | 653,500    |
| 会議費     | 20,000     | 10,503     | 9,497    | 12,546     |
| 交通・出張費  | 0          | 0          | 0        | 0          |
| 協賛・助成費  | 611,000    | 630,600    | -19,600  | 611,000    |
| 講師等謝礼金  | 50,000     | 5,000      | 45,000   | 0          |
| 雑費      | 6,000      | 6,121      | -121     | 3,045      |
| 懇親会費    | 30,000     | 93,260     | -63,260  | 13,140     |
| 備品購入費   | 0          | 0          | 0        | 0          |
| 予備費     | 50,000     | 0          | 50,000   | 110,000    |
| 小計      | 2,219,000  | 2,142,267  | 76,733   | 2,253,454  |
| 特別会計繰出金 | 530,000    | 515,720    | 14,280   | 417,980    |
| 支出の部小計  | 2,749,000  | 2,657,987  | 91,013   | 2,671,434  |
| 次期繰越金   | 7,461,380  | 7,982,422  | -521,042 | 8,410,280  |
| 支出の部合計  | 10,210,380 | 10,640,409 | -430,029 | 11,081,714 |

☆定期貯金(郵便局)5,000,000円 普通郵便貯金2,848,067円  
活動資金残額134,355円(郵便貯金132,844円 銀行預金540円 手持ち現金971円)

### 経友会会費納入実績の推移

| 項目        | H15年度      | H16年度      | H17年度      | H18年度      |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 納入会員数     | 360人       | 330人       | 329人       | 273人       |
| [うち終身会員数] | [ 24 ]     | [ 9 ]      | [ 30 ]     | [ 42 ] *2  |
| 親和会人数     | 36         | 37         | [ 37 ] *1  | 36         |
| 納入金額合計    | 1,821,820円 | 1,889,620円 | 1,797,170円 | 2,039,720円 |

\*1 親和会37人の会費は前年度に納入済み

\*2 平成18年度末の終身会員総数は228人

## 平成18年度 経友会講座特別会計決算書

| 科 目     | 支 出 額   | 内 訳                                      |
|---------|---------|--|
| 通信費     | 1,020   | 講師受諾礼状郵便代                                |
|         | 5,120   | 講義資料その他郵便料(有田委員分)                        |
|         | 380     | 講師へビデオ送付代                                |
|         | 700     | 講師へ経済学部PR冊子3名に送付                         |
|         | 7,220   |  |
| 消耗品費    | 4,150   | 電池、写真材料費その他                              |
|         | 5,040   | 講座担当委員名刺制作代@1,260×4人                     |
|         | 9,190   |  |
| 交通費・出張費 | 27,920  | 講師 藤井一彦氏 旅費13,920円、宿泊費14,000円            |
|         | 41,700  | 講師 安藤清氏 旅費27,700円、宿泊費14,000円             |
|         | 27,700  | 講師 池内敬氏 旅費27,700円、宿泊費 0円(返還)             |
|         | 25,600  | 担当委員交通費 斎藤氏8,700円、竹内氏16,900円             |
|         | 122,920 |  |
| 講師等謝礼費  | 260,000 | 講師謝礼@20,000円×13人                         |
|         | 260,000 |  |
| 講師等食事費  | 116,390 | 講座終了後、講師・担当教授・担当委員夕食代 13回分               |
|         | 104,000 |  |
| 雑費      | 10,000  | 執行なし                                     |
| 合計      | 530,000 | 515,720 残額530,000-515,720=14,280は一般会計へ戻入 |



## 平成19年度 経友会一般会計予算書(案)

### 収入の部

| 科 目   | H19年度予算額  | 前年度予算額     | 増 減 額    | 前年度決算額     |
|-------|-----------|------------|----------|------------|
| 前期繰越金 | 7,982,422 | 8,410,280  | -427,858 | 8,410,280  |
| 会費収入  | 1,800,000 | 1,800,000  | 0        | 2,039,720  |
| 雑収入   | 90,000    | 0          | 90,000   | 185,416    |
| 受取利息等 | 300       | 100        | 200      | 4,993      |
| 合 計   | 9,872,722 | 10,210,380 | -337,658 | 10,640,409 |

### 支出の部

| 科 目     | H19年度予算額  | 前年度予算額     | 増 減 額    | 前年度決算額     |
|---------|-----------|------------|----------|------------|
| 通信費     | 600,000   | 619,000    | -19,000  | 595,749    |
| 印刷費     | 290,000   | 170,000    | 120,000  | 237,890    |
| 消耗品費    | 55,000    | 63,000     | -8,000   | 57,144     |
| 人件費     | 510,000   | 600,000    | -90,000  | 506,000    |
| 会議費     | 20,000    | 20,000     | 0        | 10,503     |
| 協賛・助成費  | 501,000   | 611,000    | -110,000 | 630,600    |
| 講師等謝礼金  | 50,000    | 50,000     | 0        | 5,000      |
| 雑費      | 6,000     | 6,000      | 0        | 6,121      |
| 懇親会費    | 145,000   | 30,000     | 115,000  | 93,260     |
| 予備費     | 50,000    | 50,000     | 0        | 0          |
| 小計      | 2,227,000 | 2,219,000  | 8,000    | 2,142,267  |
| 特別会計繰出金 | 660,000   | 530,000    | 130,000  | 515,720    |
| 合 計     | 2,887,000 | 2,749,000  | 138,000  | 2,657,987  |
| 次期繰越金   | 6,985,722 | 7,461,380  | -475,658 | 7,982,422  |
| 支出の部合計  | 9,872,722 | 10,210,380 | -337,658 | 10,640,409 |

## 平成19年度 経友会講座特別会計支出予算(案)

| 科 目     | 予 算 額   | 内 訳                               |
|---------|---------|-----------------------------------|
| 通信費     | 10,000  | 講義資料その他送料、郵便料                     |
|         | 10,000  |                                   |
| 消耗品費    | 12,000  | 電池、写真材料費その他                       |
|         | 12,000  |                                   |
| 交通費・出張費 | 173,000 | 講師、担当委員旅費、宿泊費                     |
|         | 173,000 |                                   |
| 講師等謝礼費  | 260,000 | 講師謝礼@20,000円×13人                  |
|         | 260,000 |                                   |
| 講師等食事費  | 195,000 | 講座終了後、講師・担当教授・担当委員夕食代@15,000円×13回 |
|         | 195,000 |                                   |
| 雑費      | 10,000  |                                   |
|         | 10,000  |                                   |
| 合 計     | 660,000 |                                   |

## 玉井ゼミ懇親会潜入ルポ(特集続編) 玉井先生の素顔に迫る!

7月19日(木)梅田で催された「玉井ゼミ合同懇親会」に編集者2人が潜入、くつろいだ雰囲気の中、玉井先生、3・4回生の学生たちに直撃インタビューを試みた。

この日出席したのは、3回生、4回生合わせて十数名。どちらかというと4回生は就職も決まり、後は卒論に没頭の毎日? 一方3回生はようやくゼミにも慣れ始めてきたところというのが本音のようで、これから社会人へむけて人生の進路をどう歩んでいくかそろそろ気になり始めたところといった感じ。しかしそこは玉井ゼミ、4回生が3回生に就職の面接のときのことや企業選びなどのアドバイスもささやかれていた。

先生は終始学生たちの話に穏やかに相槌を打ち、適度に質問や示唆を与えるなどその面倒見の良さは懇親会でも変わることがなかった。先生に学生への不満などについて水をむけてみたが、市大の学生は育て方次第で京大にもひけをとらない優秀な学生が結構いるとのお答え。

場所を変えていつものパターンらしくカラオケでの2次会が始まった。マイクを握ると先生の表情は一変。過ぎし青春ソングを熱唱されていた。負けじと学生たちも思い思いの若者の歌を熱唱。いずれ劣らぬカラオケ合戦となって夜は更けていき気がつくとみんな満足気(私たちのせいでいつもよりは少なめかも?)でお開きとなった。



## 香林坊雜感 第4回

### ～「サブプライムローン」問題にみるブログの嗅覚力～

皆さんこんにちは。香林坊でございます。本日も少しお時間を拝借致します。さて、今回は、07/8月の世界同時株安とともに注目された“サブプライムローン”問題と、ブログの嗅覚力について少しお話を致したく思います。

#### 【“サブプライムローン”問題とは?】

一言で説明しますと、「米国の住宅ローン商品である“サブプライムローン”的焦げ付きに端を発した諸問題」と言えます。

07/8/4日付の読売新聞によりますと、米国の“サブプライム(最良の下の意)ローン”とは、過去に何度もクレジットカードの支払いが遅れたり、所得が少ない人向けに、専門の住宅金融会社が中心に融資していた住宅ローン商品(多くの場合、収入が低い人でも借り易くするため、借り当初2年程度は返済額を低く抑えてあるものの、それ以降は一気に返済額が跳ね上がる仕組み)です。

米国では、03年～06年春にかけて住宅価格が上昇していたので、多少無理をして住宅ローンを借りても、担保となる住宅の値上がりで何とかなっていたらしいのですけれども、さすがに返済出来ない人が増加し、経営に行き詰まる住宅金融会社も増えてきた…という訳です。

加えて、問題を複雑にしているのが、こうした住宅金融会社が、“サブプライムローン”的債権を、機関投資家にいわば切り売りしていること。主にCDO(コラテラライズド デッド オブリゲーション<債務担保証券の意>)や、MBS(モーゲージ バックド セキュリティーズ<住宅ローン担保証券の意>)という有価証券の形をとて、世界各国の機関投資家に販売されており、各国の金融機関や投資ファンドでの損失発生が報道されています。

#### 【ブログの嗅覚力】

こうした中、今回の“サブプライムローン”問題に関して、日本国内で最も早く注目したメディアは、インターネットのブログではないでしょうか。

ご関心のある方は、是非一度、インターネット検索サイトの「google」等で、“金融”、“ブログ”といったキーワードを入力してみて下さい。有名無名を問わず、多数の金融関連ブログの名前がリストアップされる筈です。

さらに“サブプライムローン”といったキーワードで絞り込んでいくと、早いものでは06年後半頃から、「サブプライムローンってどうなのよ」、「これヤバいんじゃないの」といった“つぶやき”から、そのリスクの所在を指摘する“解説”的な書き込みが見つけられるかと思います。

日経新聞、日経金融新聞といった従来メディアが、今回の“サブプライムローン”問題に関して大きく取り上げ出したのは、確か07年度入り後でしたので、こうしたブログの嗅覚力には、正直感心させられたところです。

#### 【むすび】

もちろん、ブログは匿名の書き込みに過ぎません。事実、憶測やウソも多数存在しますので、従来メディアと同次元で比較するのは少し無理があります。

しかし、刑事ドラマに出てくるような「俺の勘」一言い換えれば「未だオーソライズされた見解は表明できないけれども、何だか怪しい」といったところが把握し易いメディアであること、今回の“サブプライムローン”問題を機に、改めて分かったような気がします。そろそろ字数が尽きました。またどこかでお目にかかりましょう。

(香林坊)

## ——経友会からのお知らせ——

### <第12号のお詫びと訂正>

前回号の「経友会講座ダイジェスト」の中で、第2回にご講義いただきましたトヨタ自動車株式会社フリート営業部長藤井一彦講師の紹介文に以下の誤りがありました。藤井講師には多大な迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げますとともに、今後このようなことのないよう編集・校正を厳格に行わせていただきますので、会員の皆様にも何卒ご了承願います。

(誤) 学生時代は応援団長として… (誤) トヨタ入社後は人事課長はじめ…  
(正) 学生時代は体育会幹部として… (正) トヨタ入社後は人事課をはじめ…

### <ご連絡先変更のお知らせ>

会員の皆様でメール等をお使いにならない方の連絡先が本年4月1日から変更になりました。恐れ入りますが、お問い合わせ、ご感想、ご意見などはできるだけファックスまたは葉書等でご連絡願います。なおお急ぎの節はお電話でも結構ですが、月～金の10時から17時までにお願いいたします。

(新) 連絡先

〒530-0053

大阪市北区末広町3番21 新星和扇町ビル エルズアイ株式会社 気付

大阪市立大学 経友会ニュース編集委員会 斎藤(さいとう)宛

電話:06-6311-5668 FAX:06-6210-5686

## 編集後記

アジア諸国経済的発展が著しい。日本が取り残される可能性がある。大学誘致をしているシンガポールはMITは来てほしいが東大は要らないそうだ。(周)

日本列島の鳴動が続きます。些少ながら復興義捐金を送っていますが、これが南海道大地震の免罪符とはならないでしょうね。(堺衆)

久々の大坂。WTCから見るとタワーマンションだらけでびっくり。(香林坊)

13号の発行が、仕事に追われて大変遅れてしまい会員の皆様にお詫び申し上げます。ところで今回の特集企画で、現役の玉井先生のゼミ生たちを取材して思ったこと。「社会はどこか歪んできているけど、元気のある若い力が市大にはちゃんとある!」(浪速のベンチャー男)